

一般会計性質別内訳

	6年度決算額	5年度決算額	増減率
人件費	9億2,576万円	9億103万円	2.7%
物件費	10億331万円	9億7,712万円	2.7%
維持補修費	2億511万円	1億7,550万円	16.9%
扶助費	4億2,257万円	4億5,848万円	△7.8%
補助費	14億5,824万円	13億1,241万円	11.1%
公債費	9億4,474万円	8億5,887万円	10.0%

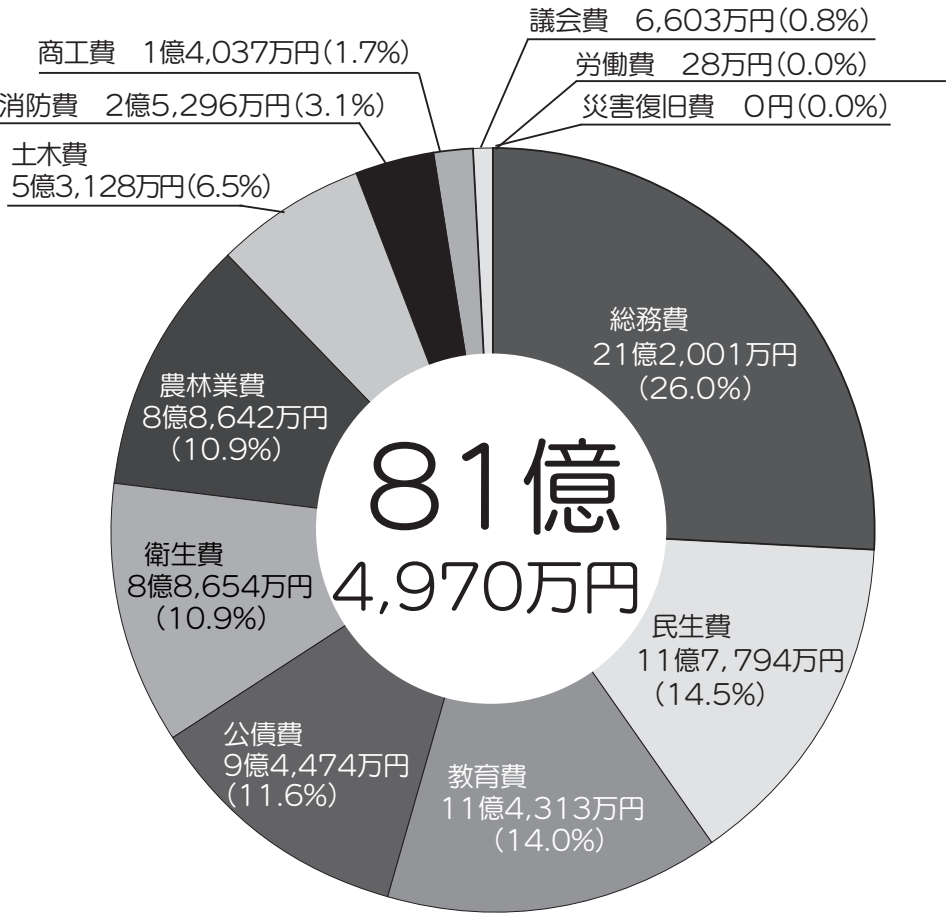
	6年度決算額	5年度決算額	増減率
積立金	9億1,577万円	10億2,129万円	△10.3%
投資出資金	0円	0円	0%
貸付金	0円	0円	0%
繰出金	2億8,530万円	2億8,427万円	0.4%
投資的経費	19億8,890万円	18億8,467万円	5.5%
合計	81億4,970万円	78億7,364万円	3.5%

一般会計

歳出

総務費が全体の約2・6割

歳出の決算額は、81億4,970万円で、対前年比3・5%の増となりました。これは、土木費の町道整備事業、町営住宅管理経費等による26・6%増、教育費の給食センター施設整備事業等による68・1%の増などが主な要因となっています。



特別会計

歳入・歳出

会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	5億7,990万円	5億7,951万円
後期高齢者医療事業	1億384万円	1億370万円
介護保険事業	6億4,876万円	6億4,844万円

企業会計

収益的・資本的収支

簡易水道事業	収益的収支	
	収入	支出
	1億9,448万円	1億7,775万円
下水道事業	資本的収支	
	収入	支出
	1,473万円	1億2,507万円

下水道事業	収益的収支	
	収入	支出
	5億1,970万円	4億9,108万円
	資本的収支	
	収入	支出
	3億2,492万円	4億2,354万円

令和6年度の
決算を報告します

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。これらが、行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に令和6年度決算の状況についてお知らせします。

一般会計

歳入

令和5年度と比べて3・5%の増

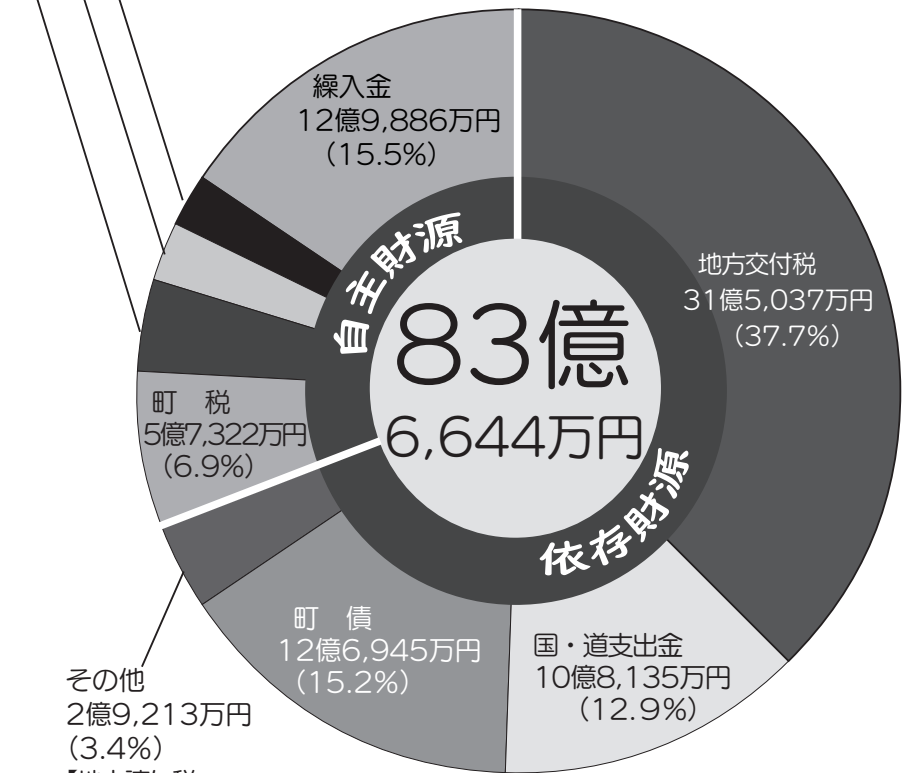
歳入の決算額は、83億6,644万円で、対前年比3・5%の増となりました。これは総務費国庫補助金の地方創生拠点整備交付金及び給食センター施設整備事業、幸町地区コミュニティ施設整備事業等による町債の増が主な要因となっています。歳入の内訳を見ると、地方交付税が最も大きな財源になっており、令和6年度では31億5,037万円で歳入全体の37・7%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税等の交付金などを合わせた依存財源は69・2%になります。

分担金その他 3億1,056万円(3.7%)

【分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金】

繰越金 2億874万円(2.5%)

諸収入 1億8,176万円(2.2%)



令和6年度の主な事業(抜粋)

総務費	
まちなか再生事業	5億2,000万円
農林業費	
木材工芸館整備事業	1億5,840万円
道営土地改良事業	1億5,449万円

土木費	
道路橋梁維持整備事業	5,734万円
橋梁長寿命化修繕事業	4,607万円
教育費	
給食センター施設整備事業	4億4,025万円
トレーニングセンター施設整備事業	1億307万円